

革新的環境イノベーション戦略（提言）に盛り込むべき事項（案）

1. 戦略のスコープ

- ・地球温暖化問題の解決に向けて、社会実装可能なコストを実現する非連続な技術の開発、実装のための仕組みを推進することで、イノベーションを創出し、世界全体の温室効果ガス排出削減に貢献する戦略を提示する。

2. 世界全体の削減ターゲット

- ・世界全体を視野に入れつつ CO2 削減コストを新たに提示することとしてはどうか。

3. 実現に向けた革新的・非連続技術の重点化

重点化する技術の抽出にあたっては、

- ・世界全体での CO2 等削減ポテンシャルが高いこと
- ・実現まで（コスト削減を含む）に長期間を要しリスクが高いことを要素としてはどうか。

<候補となる技術分野>

- ・非化石エネルギー（次世代太陽光発電、次世代地熱発電、革新的原子力技術、核融合、水素発電）
- ・蓄エネルギー・エネルギーキャリア（次世代蓄電池、水素）
- ・モビリティ（電動化、水素化、CO2 ニュートラル燃料）
- ・革新的製造プロセス（ゼロカーボンスチール、人工光合成、炭素再資源化セメントプロセス、バイオ利用プロセス、金属リサイクル技術、プラスチック資源循環プロセス）
- ・省エネルギー（革新的構造材料、次世代エレクトロニクス、次世代燃料電池、建築物・住宅分野）
- ・エネルギー・マネジメント（VPP）

- ・ CCUS／カーボンリサイクル
- ・ 農林水産業、吸収源
- ・ 気候変動メカニズムの更なる解明、予測精度の向上

4. 実現に向けた政策イノベーション

本日の議論も踏まえ、以下のような項目について提示してはどうか。

- (1) 政府による先導的取組み
- (2) 技術シーズの発掘・創出
- (3) 官民のリソースの効果的な投入
- (4) 社会実装につなげる仕掛け

5. その他